

岡道男先生略歴

- 昭和 6年 1月 4日 大阪市に生まれる
- 昭和12年 4月 満州国鞍山市，大宮小学校に入学
- 昭和18年 3月 同校卒業
- 昭和18年 4月 満州国鞍山市，鞍山中学校に入学
- 昭和20年 9月 終戦のため同校解散
- 昭和21年10月 大阪市立扇町第二商業学校に編入学
- 昭和25年 3月 同校卒業
- 昭和25年 4月 大阪市立扇町第二商業高等学校に編入学
- 昭和26年 3月 同校卒業
- 昭和26年 4月 京都大学文学部（ドイツ語学・ドイツ文学専攻）に入学
- 昭和30年 3月 同大学卒業，学位論文：Schiller und Virgil. Ein Versuch
- 昭和30年 4月 京都大学大学院文学研究科修士課程（言語学専攻）に入学
- 昭和32年 3月 同課程修了，修士論文：Homerica I Ueber die homerische Version der Meleagrossage. HomERICA II ΠΑΡΩΙΚΑ
- 昭和32年 4月 京都大学大学院文学研究科博士課程（言語学専攻）に入学
- 昭和34年10月 チュービンゲン大学にエアハルト基金によるDAAD奨学生として留学（昭和36年 5月まで）
- 昭和36年 5月 マインツ大学にエアハルト基金によるDAAD奨学生およびラインラント・ファルツ州政府奨学生として留学（昭和37年 1月まで）
- 昭和37年 3月 京都大学大学院文学研究科博士課程を単位修得退学
- 昭和37年 4月 同志社大学法学部専任講師
- 昭和39年 4月 同 助教授
- 昭和40年 4月 マインツ大学客員教授（昭和41年 3月まで）
- 昭和44年 3月 同志社大学を退職
- 昭和44年 4月 京都大学文学部助教授
- 昭和52年 7月 京都大学文学博士，学位請求論文：「ホメロスと叙事詩の環」
- 昭和52年10月 文部省在外研究員としてマインツ大学に出張（昭和53年10月まで）
- 昭和54年 4月 京都大学文学部教授
- 昭和60年 4月 京都大学評議員に併任（昭和62年 4月まで）
- 昭和63年10月 ドイツ学術振興会の招聘によりマインツ大学に渡航，マインツ大学客員教授（平成元年 9月まで）
- 平成 6年 3月 京都大学定年退官